広報おうら
ORA TOWN Public Relations
令和2年6月号 No.645
毎月1日発行

〈第八十八回〉

若い人たちに語り継ぎたい、
次の世代に残しておきたい。
貴重な話をお届けします―。

あすへひとこと

いつの時代までも残したい

邑楽町の昔ばなし

麦刈りや田植えなど農作業のほとんどは手作業から機械へと移り変わっていきましたが、農繁期の忙しさは昔も今も変わりません。

麦の穫り入れ

私たちの生活において、小麦は米に次いで欠かすことができない大切な食糧であり、かつて母が作ってくれた手づくりまんじゅうは、今でもその味を思い出します。

麦刈り時期は、盆と正月が一緒にくるような最も多忙な時期です。日ごとに黄金色に深まり行く麦を見ながら、父はラジオのスイッチを入れ天気予報を聞き、明日明後日の作業を決めます。早朝の明るくなるのを待つ間は、麦刈り鎌が良く切れるように、砥石で何丁も懸命に研ぎすまし、家族総動員の麦刈り作業に備えます。

家族全員が朝の食事を済ませると、麦畑に向かい、麦を左手で大きく持って、バリバリと刈り倒していきます。みんなの刈取りが、機械で刈っているみたいに早く進んでいき、すっきりした青空に黄金色の麦が一面に敷かれていく様子は本当に気持ちの良いものです。

このようにして、麦を刈っているうちに鎌が切れなくなると、切れる鎌に取り換えてすぐさまバリバリと刈り取り作業を進めます。このことは刈り取り鎌が切れなくなる度に砥石で研いでいては、その間は刈り取り作業を休むことになり、作業効率が低下するからだと父は話してくれました。

麦刈りはマラソンのようなもので、スタートしたらゴールまで走り続けます。これは麦刈り時期が梅雨期で、いつ雷雨に見舞われるか分からないからです。作業を始めたらお天気が変わる前に、その日のものを収納することだと、父は長い生活体験の中から、毎日の作業計画の大切さを私たちに教えてくれました。

農繁期休暇

農村地方では、春と秋の農業の忙しい時期に、農繁期休暇といってそれぞれ十日ほどの学校休日がありました。

私の家は五反歩ほどの田畑があり、父は勤め人だったため母が一人で耕していました。私は男3人の兄弟ですが、みんなで母の手伝いをしたものです。

農家の子どもが家の手伝いをしたのはこの期間だけではありません。春休みや夏休みもほとんど家の手伝いをしていたので、遊べる事はほとんどありませんでした。

今思えばこの頃に覚えた事が、今でも役に立っています。例えば、妻が寝込んだ時でも、炊事洗濯を何の苦労もなくやれる事です。私と同年代の男たちなら誰でもやれることかもしれません。

【発行】邑楽町老人クラブ連合会　【編集】あすへひとこと編集委員会
(平成20年6月28日発行「邑楽町のくらしの四季(第九集)あすへひとこと」)より

まちの風景

ふれあい花道
(新中野地内)

Photo 飯野祐司(記録ボランティア)

ひとりごと　From editors

▶今月の広報おうらを読んで気付いた人はいましたか？皆さんの笑顔を掲載している「フォトパレット」のコーナーが掲載できませんでした。新型コロナの影響で学校休校をはじめ、町のあらゆるイベントや講座などが中止や延期になり、皆さんの笑顔に出合う機会が無くなってしまったためです。でも少しずつ明るい兆しが…。今月から学校が段階的に再開し、少しずつ日常が戻ってくる予感がします。その時は広報おうらのカメラに素敵な笑顔を見せてください。▶日常を取り戻す一助として新型コロナに関連する40の支援策を掲載しました。全てが皆さんに当てはまるわけではありませんが、必要とされる支援策がきっとあると思います。ぜひ一度ご確認ください。(小室)

編集・発行　邑楽町役場企画課
〒370-0692(住所記入不要)
☎0276-88-5511(代表)
☎0276-47-5007(企画課直通)
FAX 0276-89-0136
https://www.town.ora.gunma.jp
koho@swan.town.ora.gunma.jp

おうらお知らせメール
配信を希望する人は、右のQRコードから、ご登録をお願いします。
http://cc9.easypocket.jp/(スマートフォン・PC)
http://cc9.easypocket.jp/k/(携帯電話)

UD FONT by MORISAWA　この広報紙は、見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。
VEGETABLE OIL INK　この広報紙は、自然保護のため植物油インキを使用しています。